市長が行く

No.132

茂原市長　田中豊彦

ワクチン接種率80％

長生郡市一体となって行ってきましたワクチン接種も、9月、10月に予定した集団接種の甲斐（かい）もあって、このまま順調にいけば想定していた11月いっぱいまではかからず、ほぼ10月末から11月初めには、国が示している2回目の接種率80％が見えてきました。

80％という数字は、コロナの抗体を持った人が80％出現すれば、コロナにほぼ勝てるといわれている数字で、欧米では70％の壁があり、なかなか80％まで接種率を上げることは難しいと言われています。今のところまだはっきりとしたことは言えませんが、この茂原市を含む長生地域においては、ほぼ80％の接種を終えることができるということに、ひとまず安堵（あんど）するとともに、ご尽力いただいた皆さんに改めて感謝申し上げます。

ただ、前にも書いたかと思いますが、ウイルスは常に変化しているため、次々と新しい変異ウイルスが出現します。2回の接種を終えたからと言って安心できる状況には至っておりません。現にシンガポールでは、81％の国民が接種を終えているにもかかわらず、さらなる感染拡大が起きているようです。たとえ100％の国民がワクチン接種を終えたとしても、おそらくこのコロナに打ち勝つことになるとは思えません。ただ、ワクチン接種をすることにより、仮にウイルスに感染したとしても、軽症で済むことが期待されているため、進めているような状況です。今求められているのは、治療薬の早期開発による患者への投与です。まだまだこれだという薬が開発されていませんが、もう少しのところまできているように思えます。世界中で待ち望んでいる薬が一日も早くできることを願ってやみません。

もうしばらくはコロナとの闘いは続きそうです。10月からはインフルエンザのワクチン接種も始まり、今まで以上にコロナかインフルエンザかはたまた普通の風邪かで頭を悩ませることになりそうです。コロナに注意しながら医療に携わる関係者の皆さんのご苦労が推察されます。

暗い暗い日々の中ですが、苦しい中でも前を向き、毎日の生活をもう一度見つめ直す機会にしていきたいものです。「明けない夜はない」という言葉を信じて。